

23年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第8号
令和8年7月24日

校長 早坂 智

計画的に充実した夏休みに

7月25日（土）から夏休みになります。昨年度と同じ話になりますが、夏休みでは、土日の休日や普段の生活ではなかなかできないことにチャレンジできる絶好のチャンスです。また、これまでの学校生活（学習・生活等）の成果と課題を振り返り、うまくできなかったことに再度取り組み、プラスにチェンジしていくということもできる休みです。特に、3年生にとっては、卒業後の進路を見据えて、1・2年生の復習にじっくり取り組むことができる休みにもなります。その反面、自分で自由に使える時間が増えるため、自分自身をしっかりコントロールしていかなければならない期間にもなります。

4つのC（CHALLENGE：チャレンジ、CHANCE：チャンス、CHANGE：チェンジ、CONTROL：コントロール）等を大事にしながら、一人ひとりが充実した夏休みになることを期待しています。

親子対象 メディア講演会開催

7月15日（水）に、夏休みを前に生徒と保護者を対象にした親子メディア講演会を開催しました。県警察本部 生活安全部 人身安全少年課 少年補導専門官の佐竹めぐみ氏を講師に迎え、「SNSトラブルから身を守るために」のテーマのもと、ご講話をいただきました。内容では、様々な犯罪につながる事例をお話しながら、中学生は動画や画像を投稿しないことをはじめ、法律やルールを守ることや自分の行動の結果を想像すること、自分の行動に責任を持つこと等、中学生としてしっかりしていかなければならないこと等について学びました。これから夏休みに入りますが、各家庭で決めたルールや約束事を守って、安心・安全な夏休みを過ごしてほしいと思います。



2・3年生対象 性教育講演会開催

7月2日（木）に、2・3年生を対象にした性教育講演会を開催しました。さとこ女性クリニックの医師 井上聡子氏を講師に迎え、テーマ「知ってほしい性と生 ～産婦人科医師からのメッセージ～」のもと、ご講話をいただきました。具体的には、中学生の実態を加味しながら専門医の立場から生徒に知識として身につけておいてほしいことや、互いを尊重して大人になってほしいこと（妊娠と人工妊娠中絶、避妊法、性感染症や



HPV ワクチン、デートDV、性の多様性等）等のお話やメッセージをいただきました。生徒の皆さんも性に関して理解を深める学びができたと思います。

「食について考える」 全校食育講座

7月13日（月）に、全校生を対象にした食の大切さについて考える食育講座を実施しました。元Jリーガーの岡崎建哉氏を講師に、食の大切さをはじめ、ご自身の経験を振り返りながら挫折や失敗から学ぶことの大切さ、挑戦することの素晴らしさ等について、ご講話をいただきました。岡崎建哉さんはプロのサッカー選手時に感じた食の大切さから、引退した現在、農業に従事しており、実際にご自身が育てたお米や野菜を使って調理された夏野菜カレー等の給食を一緒においしくいただきました。いつもは苦手として考えてしまう食材も、食の大切さについて学んだ生徒たちは、好き嫌いを克服しようと、残さず食べようとしていました。中学生は成長時期の真っただ中になります。この講座を機会に、健康で丈夫な体をつくるためにも、好き嫌いをしない等、食事について考えていってほしいと思います。なお、本講座や給食の時間の様子については、テレビのニュースでも取り上げられました。



校内授業研究会【2年国語・3年美術】実施

7月8日（水）に校内授業研究会を実施しました。今回は、2年国語と3年美術の2つの授業研究会を行いました。2年生の国語は、「言葉に向き合う短歌に親しむ・短歌を味わう」という授業で、自分が選んだ短歌の「作者の心や情景」についてまとめたものを、同じ短歌を選んだ者どうしが集まり、交流を図るという学習でした。各グループに分かれて、まとめたシートをもとに、作者の心を表す効果的な表現等について、根拠を交えながら積極的に話し合う姿が見られました。学んだことを生かして、次の時間からは自分にしか詠めない、今の心を短歌で表す創作活動が行われます。どのような短歌を詠むのかとても楽しみです。



3年生の美術は「自我像」の授業で、画面全体のまとまりを考えながら下描きを行うというものでした。一人ひとりが設定した自分のテーマのもと、画面の構図や表情、ポーズ等の関係を考えながらそれぞれ取り組みました。授業者の大内教諭からはイメージ的にならないようにとの助言があり、それを受けて鏡を用いながら進んで制作に取り組む姿が見られました。2年生と同様に、どんな自我像が完成するのかとても楽しみです。